

立命館経済學

第二十五卷 第二・三号

昭和五十一年八月

内 容

論 説

- 銀行信用・利子生み資本の論理的な前提……………小 牧 聖 徳 1
- 社会主義経済管理における民主主義の原理と
その展開の構造について……………小 野 一 郎 33
- 産業資本主義段階における近代的独占の
存在形態 (一) ……………若 林 洋 夫 67

研 究

- 「完全雇用」保障計画と公共職業訓練 ……………三 富 紀 敬 157
- シャープ勧告と戦後日本の資本蓄積……………藤 岡 純 一 186

研究ノート

- 最近のソ連学界における「経済的社会
構成体」の研究……………小 檜 山 政 克 215
- 共 同 研 究 室…………… 228

立 命 館 大 学 経 済 学 会

論 説

結合生産・価値・剰余価値……………申 賀 光 秀

——Mark 剰余価値論への
新しいタイプの批判について——

産業資本主義段階における

近代的独占の存在形態(一)……………若 林 洋 夫

——北東イングランド石炭独占の歴史的性格——

研 究

戦後における企業内教育の展開……………三 富 紀 敬

一九二〇年代造船業における
資本制的労働過程……………清 水 憲 一

——川崎造船所を中心に——

翻 訳

フランスにおける労働者と

その家族の権利(一)……………戸 木 田 嘉 久

——フランス労働総同盟
『ボケット法律便覧』から——

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会

論 説

「有効需要の原理」と

IS-LM 分析……………小 野 進

——ケインズ理論の現代的解釈をめぐって——

利潤と剰余労働……………北 野 正 一

——固定設備の耐用年数の決定を中心に——

欧州共同体の地域経済問題……………清 水 貞 俊

翻 訳

フランスにおける労働者と

その家族の権利(二)……………戸 木 田 嘉 久

——フランス労働総同盟
『ボケット法律便覧』から——

イングラム「タイの米価問題」……………田 坂 敏 雄

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会